

青 あお 黒き天鷲絨の様、奥底深き紫のやう濃く、かつ、炸燦々たる晰裂、まなこを射抜く眩
さが狂奔裂たる睿らかさ。
きやうほんれつ あき

蒼 あお 未だ明けならぬ、最も清らかな、明けく、透きとほりたるぶるうぶぶらつく。蒼古の蒼。
いちばん あきら B L U E B L A C K

碧 あお あかるき土耳其石のごとく、かつ、コバルト・ブルーの強きも湛え、モルフォ蝶の金属
のごとき鮮やぎ、AZU チュニジアン・ブルーの濃さ、瑠璃の昏深さ、ろうり 碧き黄金の黄昏のごとく、
絢爛たる哉。網膜を刺す南海のエメラルド・ブルー、氷河の白の重なりの奥に秘められ清爽
なる碧。

藍 あを 黒蜷の絵のやうな葡萄酒いろのディオニューソス。焰の影なすマイナーデス。アポロン
神の熾ゆ睿智。Marriage カノン ログスとフシスの華燭の式典。典範たるべき明晰判明。月に吠ゆ野獣の性。
人生来の明き徳。あけ あかく熾ゆやうゆらゆらと、裂き龍の炎爛のまなこの裂帛。爛熟に、はげし ゑんらん そび
うバビロン、あをき門。

紺 あを 昏き海溟。くろく塗り、つぶしたるかの北海の怒濤底なし。ヴィーキング、龍の御舟が
波頭裂く焉。
なり

青蒼碧藍紺群青紺碧青藍深藍。繁縟精巧精緻細密、金剛胎蔵両界曼陀羅、ダイヤモンド いそはち 金剛石を五十八
のブリリアントな切り籠にKIZAMI、きざみ 光の折を幾へも重ね、奥行Mosaic。

此様にありき、眸の虹彩（瞳孔を拡げ縮める筋繊維）、色素が光を燦亂放射。
かやう ひとみ かうさめ

瞳孔の水晶体の透明度たるや、三千尺の水底の細石の凹凸の一々をすらも晰々と、輪郭の區
劃、屈起と尖突させる哉。最純粹なる無限透明その真空度、一切の生を燉け爛れさせ、無空
たのしみ あきあき

すら死す真空絶空絶空たる純度の超絶。

睫毛たるや、あでやかな、蝶々ひらり、ひらりとゆっくり大きく煽ぐ。森厳なる山奥の白百合しらゆりのおしべ、さつきの花のおしべのやう、長く反りて、深く翳す。天穹鏤煌てんきゅうろうかう、一千萬億兆華の繚亂、秋錦繡の豪奢絢爛、櫻華爛漫、飛華落葉のはらはらと波瀾萬丈。

二重瞼の弧のあざやぎが多かくラインと、眉下のいろのカフェラテ、繊細さ堪え難きほど、微妙うつらふ、眼窩の差異の變遷。

皮膚皮膚ひふの白皙、やはらかき大理石の滑らかさ、銀嶺しろがねの雪よりまぶし、まぶたも開かぬ、神々しきほど、光り赫かがやき。ミルクよりふかき真白のあぢはひ、うまし白。潤うるはしきはや、いのちの躍動血潮脈打ち、生れ初めの、天あそきひふ。をさな 皮膚

黄金の髪まっすぐに、ほそくつややな、絹糸のごとし。ぶらちなBLONDE、ミルク・ブロンド、シャンパーニュ、濃き金泥のあだ眩めまばゆくも、金箔のやう華やきて、茜ににじむこがねいろ、グラデーション做す金色の螺鈿こんじき らでんの霓は捉え得ぬまぶのいろあひ。にじ 金

青い林檎のややかたい、翠酸あおっぱい噛み、春あさき、あはい初芽の初々し、はかなきもはらみ、細やかに織こまきすじの、やはらかくも。かばそ 筋

綺羅綺羅しき哉。眩まばゆき燦裂、女神の若し、処女なるアテナ・パルノノス、アフロディーテやアルテミス。かがやか

うつせみをいきる究竟の畢竟眞如、究窮極の眞事實、客觀之奧義、諸考概念思惟ならぬ、
非意識 いままさに
狂奔裂、瞬今將是。

REAL 葬配 璃亜
りあるなる、いゐりや。

神々が莊儼し、無際限過去來、未來永劫讃えて止まぬ。汎全網羅不象神紋。崇高究大印璽。
最至高神聖印契。永久遠なる真咒陀羅尼。眞神髓なる、葬。
マントラダラニ